

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	風さん		
○保護者評価実施期間	2025年2月25日		～ 2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		～ 2025年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日異なるプログラムを実施	曜日固定の子が多く在籍するため、「おやつクッキング」「公園」「製作」「みんな遊び」「実験」の5つの項目に偏りが出ないよう、不規則に設定 また、子どもからのリクエストも募集しイベントへ反映	土曜日や祝日、長期休みのイベントがマンネリ化しつつあるため、新しい場所や取り組みを入れていく
2	システムの導入	システムの導入により業務の効率化が図られ、子どもたちと関わる時間が多く取れる	定期的なアップデートにより、更に効率化が狙える部分もあるため内容の確認を行い活用できる部分は活用していく
3	研修や勉強会の定期的な実施	メンバーからの疑問や不安を事前回収し、全員で勉強する機会や外部研修や個人で学んだことを全体に共有する研修など、定期的な実施しスタッフの知識や意識の向上を目指すことで、安全かつ安心して楽しんで療育出来る環境作りを目指している	勉強会・研修の実施者をローテーションし、受ける側だけでなく伝える側も経験することで、より知識や意識が深まるよう取り組んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペースがやや狭い	雨の日など室内で過ごす際は、実施可能な活動に限りがあるため退屈と感じる児童もいる	他事業所のスペースが空いている際は借りて過ごし、また屋根付きの公園や室内施設への外出等で過ごしている 難しい際は、複数人で遊べるゲームの提供を行っている 定期的なデイルームの環境整理が必要
2	地域連携の機会が少ない	遠出の外出が多く、近くでは平日の公園での地域との関わりがメインになり、機会が少ない	遠出が難しい隙間時間などを利用し、町内の施設見学などをイベントとして企画 また、参加可能なイベントなどあれば参加していく
3	システム依存	システム導入により業務の効率化に伴うコミュニケーションの不足	日々の出来事や児童の共有は送迎時行っているが、個別支援計画など書類関係の説明が欠如してしまうこともあるため、デジタル共有に合わせて口頭共有をしっかりと口頭での説明をおこなっていく